



トヨタからの車両等の調達

東京2020組織委員会 輸送局
輸送運営部 フリート運営支援課、フリート運行管制課

2019年12月25日

◆ 概要

TOPパートナー（トヨタ）から、東京2020大会で活用する車両等を調達するための契約を締結

- ・ 関係者向けのフリート（車両）サービス
- ・ 大会運営業務で用いる車両
 - 先進モビリティ（APM、e-Palette、i-Roadなど）
 - フォークリフト

フリート（乗用車）



<MIRAI>



<プリウスPHV>

先進モビリティ

APM (Accessible People Mover)



基本モデル

- ・ 広大な会場敷地内での関係者輸送等に適した短距離・低速型EV。
- ・ 3列シートで、1列目が運転席、2列目が3人掛け、3列目が2人掛けの計6人定員。車いす利用時には、2列目の折り畳みが可能。
- ・ 車いす用のスロープや車いす固定用のベルトも搭載しており、車いすの方を含めた乗り降りのしやすさに考慮。

救護モデル

- ・ 2列目、3列目の半面にストレッチャーがそのまま搭載できる仕様。
- ・ 救護が必要な方をより安定した状態で搬送できるよう、ストレッチャーの固定台を搭載。
- ・ ストレッチャーの横には、救護スタッフ2名分の座席も確保。

e-Palette

- ・ 選手村内の巡回バスとして大会関係者や選手の移動をサポート
- ・ 低床フロアや電動スロープ、停留所への正着（バスがバス停から隙間を開けずに停車すること）制御により、車椅子の方も乗降しやすく、スムーズな短距離移動をサポート



i-Road

- ・ コンパクトなボディサイズで使い勝手がよく、利用者の幅広いニーズに応える小型モビリティ

